

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔20〕 東京都台東区立ケアハウス松が谷					
指定管理者の名称	社会福祉法人東京援護協会	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	老人福祉部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕他					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム3施設					
(3)経営状況	(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入5,028,276,697円、歳出4,862,964,738円、収支差額165,311,959円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区松が谷4-4-3					
(2)設置目的	日常生活の維持は可能であるが、高齢等のため独立して生活するには不安がある高齢者に対し、食事の提供や生活相談等のサービスを行うことで、高齢者が安心して自立した生活が継続できるよう支援する。					
(3)利用者	区内在住の60歳以上の高齢者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 4,671.09㎡のうち3,336.63㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階 駐車場、ボランティア室、浴室(機械浴、一般)、食堂、相談室、居室など					
(6)人員体制	9名 内訳...施設長(1)、次長(1)、事務員(1)、相談員(2)、介護職員(3)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	栄養士の献立管理による食事(3食)提供、社会福祉専門職による各種相談、趣味活動及び季節行事の支援、外部介護保健サービスの導入と対応、年間防災訓練の実施、近隣地域との交流					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	95,055,000	95,055,000	95,055,000	95,527,080	95,055,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	95,055,000	95,055,000	95,055,000	95,527,080	95,055,000
決算	委託料	94,995,379	94,039,931	94,269,812	95,527,080	95,055,000
	料金収入等	233,108	151,318	278,602	115,992	698,051
	管理経費	95,228,487	94,191,249	94,548,414	100,427,055	95,908,041
	収支	0	0	0	-4,783,983	-154,990
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
入所定員	人	38	38	38	38	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度	
利用率	%	98.0	97.7	94.2	93.7	
延べ入所者数	人	13,600	13,557	13,067	13,032	

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

施設開設後15年を経過しており、経年劣化に伴う修繕件数が増加しているため、迅速な対応による適切な施設管理を行うとともに、計画的に修繕を行っている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [3]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)経費縮減のための取組み [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	入居者と共同でグリーンカーテンを設置し、省エネルギーに取組みながら、グリーンカーテンから収穫したゴーヤ等を夕食に提供するなど、サービスの向上に努めており、良好な事業運営が行われている。
(2)施設の維持管理	A	経年劣化に伴う修繕が増加している中で、迅速な対応により適切な施設管理が行われている。
(3)利用者の満足度	A	利用者満足度調査の評価は概ね良好であり、行事や活動内容のアンケートを反映した運営を行っている。また、演芸会の開催に当たっては、地域の方に施設をPRする一方、地域の祭りに参加するなど積極的に交流を図っている。
(4)歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。今後も引き続き管理経費の適正化に取り組んでいく必要がある。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	施設の運営は概ね適切に行われており、経年劣化に伴う修繕への迅速な対応が今後も求められる。管理経費の適正化についても引き続き取り組んでいく必要がある。
-----------	--

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

利用者のニーズに沿った施設運営が行なわれており、利用者の満足度も概ね良好である。今後も引き続き管理経費の適正化に取り組んでいく必要がある。